広報
さめがわ

昭和50年
5月号
No.258
編集兼発行
鮫川村総務課
塙町 佐藤印刷所



ふるさとの小川いつまでも清くあれ！

明るく住みよいふるさと作りの一環として行われている道路愛護作業と、河川の清掃作業は、鮫川村の誇るべき伝統行事として、毎年熱心に行われています。

今年も春の祭礼を前に、全村総出で各部落班毎に、道路の側溝さらいや路面補修、小川のゴミ採取まで、終日尊い奉仕作業が続けられました。私たちが遠い祖先からこれを受けつぎ、これを悠久の子孫に伝えるべきふるさとの自然！豊かな山のみどりと、キレイな水の流れをいつまでも守り且つ育てて行きましょう。

- ⊙ 1日　交通事故ゼロ、歩行者優先の日
- ⊙ 毎月5日　交通事故相談日（白河地方行政連絡室）TEL 白河 (2)1550
- ⊙ 毎月10日　防　犯　の　日
- ⊙ 第3日曜日は『家庭の日』

今月の人口

（5月1日 現在）

人　口	6,018（－25）
男	3,018（－ 5）
女	3,000（－20）
世　帯	1,174（＋ 6）

臨時村議会開かれる
議長に大楽勝男氏 副議長に吉田義一氏

改選後初の臨時村議会は五月七日に開かれ、議長に大楽勝男氏副議長に吉田義一氏がそれぞれ選ばれ、常任委員は、それぞれ次のとおり選任されました。

◎議長　大楽勝男
◎副議長　吉田義一
◎総務常任委員
委員長　芳賀喜一
副委員長　岡部実
委員　大竹茂
委員　小松保
◎厚生常任委員
委員長　中川西好幸
副委員長　鷲野谷巳之二
委員　鈴木公義
委員　堀川信正
◎文教常任委員
委員長　杉山忠男
副委員長　星武
委員　根本伝
委員　藤田一夫
◎経済常任委員
委員長　蛭田一
副委員長　金沢一良
委員　白坂政信
委員　松本直春

監査委員に松本直春氏

監査委員は議員の中から一名、村長が議会の同意を得て選任する規定で、今回は松本直春議員が全会一致の同意を得て選任されました。



初議会では年長の議員が仮議長となり議長の選任を行いました。

おめでた

四月

石井　佐藤裕美　父佐藤元治
石ノ花　舟木裕子　〃舟木金一
新宿　柿沼崇　〃柿沼源義
広畑　芳賀篤徳　〃芳賀一
青生野　生田目哲也　〃生田目忠一
岫長　北条訓　〃北条健治
鍬木田　松本和　〃松本一治

おくやみ

四月　世帯主
石井　中川西ミカ62才中川西武男
戸草　金沢修照59才
関下　藤田ミツ59才藤田昌司
木之根　赤坂幸一65才赤坂幸猪
名下　薄葉作右衛門80才薄葉貞夫
新宿　舟木ハルノ96才舟木嘉一

▽ヘルメット不着用は違反になります
昭和五〇年七月一日から実施され反則制度が適用されます。

▽自転車の傘さし運転は危険なのでやめましょう。（駐在所）

お礼のことば (1)

去る四月二七日に行われた地方選挙により、私は無投票をもつて重ねて鮫川村長に就任させて頂きました。

このことは、福島県下にかつて例のない公選制下連続六回の当選ということになり、まことに感激の至りでありますとともに、その責任もまた重大であることを痛感しております。

かえりみますと、これまたひとえに皆様から頂いております平素からのご厚情ご支援の賜でありまして、報恩の念を更に深く心に刻み、一層の精励を加えて村の発展と住民皆様の福祉に奉仕すべき覚悟を新にしております。



ごあいさつ

村長　石田卯子八

時を同じくして、村議会議員の選挙が行われました。立候補者二七名となり、熾烈な選挙戦が展開され、住民皆様の厳しい審判のもと、新任議員九名、再任議員九名新旧相半ばする当選者が決定されました。

ここに経験豊かな練達の再任議員と、新鋭の気魄にみちた新任議員とによつて、清新にして充実感の高い村議会の成立をみたことはよろこびにたえません。

村の執行機関と、村議会とはその権限と責任区分を異にするものではありますが、住民のために、その生活を豊かにし、その福祉を高め、村の発展に奉仕する目的に変りはありません。互にその立場と権限を尊重しつつ、抑制均衡の妙味を発揮しながら目的達成に全力をつくしたいと思います。

これからの四年間に課せられる村政の課題はまことに多いのでありますが、わが村は既に現在まで第一次の農業構造改善、林業構造改善、過疎地域振興計画、山村振興計画、広域市町村圏整備計画などを効率的に実施して、それぞれ実績をあげております。今後はこれらの第二次指定を獲得して、精力的にこれを実施することにより、過疎、へき地、山村のハンデキャップを克服し、より明るく、より豊かに、道義と文化の香り高い村づくりを進めたいと思うのであります。

この機会に、マンネリ化を強く排除し、清新の意気をもつて時代の変ぼうに機敏に対処しながら、住民のための効率的な行政の進展に全力を傾注する決意であります。

一層のご協力ごべんたつをお願いいたします。



6選無投票で福島県下最多選の当選記録を飾った石田村長は、新しい任期の第1日である4月30日に初登庁しました。本庁職員全員が拍手で迎える中を元気な姿で庁舎に入られ、心を新にして任務につく決意と職員の精励を望むあいさつがありました。

再開五年年金

保険料納期限　六月三〇日
おくれず・忘れず完納して下さい

昭和四八年一〇月から昭和四九年三月までに再開五年年金に加入された方は六月末日までに保険料五万五千円を完納しないと年金が貰えなくなるので、期限までに必ず完納されるようお願いします。

七月以降誕生月が到達すると、すぐに受給権が発生して年金が支給されます。

生活援助資金貸付制の活用を!!

もし、都合で保険料を納めることができない方には、鮫川村社会福祉協議会で実施している貸付金制度の利用をおすすめします。

手続きは簡単で、地元の民生委員か区長に申出れば借入れのお世話をすることになつています。

貸付金は、無利子、無担保で一人当り五万円まで貸付けます。

(但し貸付資金は五〇万円ですから申込みが多いときは途中で打切る場合があります。)(住民課)

社協だより

貸付限度額二万円から五万円に

鮫川村社会福祉協議会では、昭和五〇年二月から生活援助資金貸付事業を実施しております。

このほど規程の一部を改正して貸付限度額を増額しました。

従来一人当り貸付額二万円(特に必要と認めたとき三万円)を五万円に引き上げました。ただし原資金は五〇万円です。

これは、再開五年年金保険料納入や高額医療費の一時立替払いに便宜を与えるために増額改正されたもので、これで一段と利用者が増加するものと思われるので、希望者は早目に申込んで下さい。

返済期間は一年以内(但し特に認めたときは二年以内)に分割又は一時払いの方法で返済することになつています。希望者は民生委員または区長に申し出れば借入れ手続などお世話することになつていますので気軽にご相談下さい。

◇　◇　◇

次の方々から社会福祉協議会の福祉事業に使つて下さいと寄附がありました。紙上で厚くお礼を申し上げます。

木戸沢　石井　辰弥　三、〇〇〇円
大塩　矢吹孝之助　一、〇〇〇円
馬場　鈴木　公義　一、〇〇〇円
新宿　須藤　宏　三、〇〇〇円
真坂　金沢　一良　一、〇〇〇円
折戸　阿久津達也　一、〇〇〇円
道少田　橋本　正嗣　三、〇〇〇円
大塩　矢吹　啓　一、〇〇〇円
取上　円井　勝夫　三、〇〇〇円
官代　宗田　一男　三、〇〇〇円
前田　金沢　豊　一、〇〇〇円
折戸　阿久津光翁　一、〇〇〇円
大塩　矢吹孝之助　一、〇〇〇円
広畑　西島　文子　一、〇〇〇円
官代　前田　正則　三、〇〇〇円
関ノ上　中川西修身　一、〇〇〇円
草牛　田子　一夫　一、〇〇〇円
遠ケ竜　森　重寿　一、〇〇〇円

鮫川村社会福祉協議会ではこれらの浄財を各種福祉団体の助成、子供遊園地の遊具の補修費、各種福祉施設入所者、児童などの慰問費などに充てることにしています

就任のご挨拶



村議会議長　大楽勝男

春風若葉かおる候村民皆様の益々ご健勝をお祈りいたします去る四月二七日施行されました地方議会議員選挙の結果新に選挙された鮫川村議会議員初の臨時会におきまして、不肖はからずも議員各位のご推挙により再度鮫川村議会議長の要職につくことになりました。身に余る光栄であり内心おじけるものがありますが、厳しい洗礼を受けた議員各位のご協力にご期待申し上げ、村民皆様のご推挙と受けとめ、全霊を打込んで村政発展のため挺身いたすべく覚悟を新たにいたしております。

地方自治法施行以来本村議会は先輩の残した業績を基に常に住民の福祉増進を目指して堅実な歩みを続けて参りましたが当面する村政には幾多の重要問題が山積しております。これが解決には今後一段と努力を要し、議会活動の重要性を痛感しております。私は本村の解決すべき問題が山積する中で、まづ第一に過疎は依然として解消せず人口減による村財政に重圧を加えていること、第二に道路の問題であります。生産、交通災害等生活環境を阻害する要因となつていること。

第三は農業生産態勢の確立、食糧需給の変化に対応する畜産を含めた綜合的な生産基盤の拡大をはかること、以上問題は極めて多く特に急激な社会経済情勢の変化にさらされた私達の生活安定をはかるため極めて重大な時期であります。

私は常に村民皆様のご意見を正確にとらえ、その実現に全力を投球する責務を感じておりますす。これ等諸問題に対処するため村財政基盤を確立し、本村振興のため重要問題解決の指針を探り、これを国政に訴え反映してもらうこれが私達の今期の課題であると確信しております。以上決意の一端を申し上げましたが何卒変らぬご指導ご助言を賜りますよう衷心よりお願い申し上げ、就任のご挨拶といたします。

健康管理コーナー

◇健康なことは幸福であり
◇幸福であることが健康
◇である証拠でもある

皆さんの健康をより進めるため昭和五〇年度から、住民に対する健康管理の指導体制を強化し、積極的に巡回指導を行うことにしました。

広報でも今月号から健康管理コーナーのスペースを設け、紙上を通じてお互いに健康について考えてゆきたいと思います。

健康な暮しのために

「食中毒」に注意しましょう!!

まもなく梅雨期に入ります。うつとうしい毎日がつづくと心配されるのが食中毒です。

四月から一〇月までが発生しやすい時期で、特に梅雨期の六月から八月までが最も多く発生する期間です。

食中毒の原因の六〇パーセントは、腸炎ビブリオ菌、サルモネラ菌、ブドウ球菌によるものです。

腸炎ビブリオ菌（好塩菌）は魚や貝類に付着している菌で、強い繁殖力があり、腐敗現象より早く有毒化し、色、味、臭いだけでは見分けがつけにくいものです。この菌は熱に弱いので、夏の間は生ものを食べないよう注意する必要があります。

その他手洗の励行や、台所等を清潔にするなど一寸した注意で食中毒は防げます。

特にまな板、ふきんは清潔にしましょう。

まな板は一見清潔そうですが、菌の格好の住み場です、中性洗剤でよく洗い乾燥させることが大切です。ふきんも洗剤でよく洗い日光に当ててよく乾かすことです。一日に一〇枚位ふきんを用意し、次々ときれいな物を使えばまず安全です。

清潔な物を、清潔な場所で、清潔な方法で料理すること。そして熱を加え、生物をたべないことが食中毒を防ぐ最大要件です。

毒蛇にかまれたら？

‖ 先ず血清が必要です ‖

いよいよ農繁期となりました。毒蛇（まむし）に咬まれないよう注意して下さい。

まむし抗毒素（血清剤）を保管管理をしているところは

白河市本町六　**ワタナベ薬局**
（電話白河(3)二〇一一番）
（四四八〇番）

◆万一まむしに咬まれたら
どうするか◆

全身に毒素がまわらぬよう、キズ口の近くを手拭等で強くしばり「一一九番」に電話して救急車の手配をするか、自家用車等で早急に医療機関に行き、血清が届くまで応急手当をうけることが大切です。

まむしに咬まれたら、なるべく早く常備消防鮫川出張所（一一九番）、鮫川診療所（二八番）又は役場住民課（一六一番）に連絡して下さい。

（住民課）

林野火災の防止と

農繁期の火災予防

一、山菜採りの季節になり野山で歩きながらのタバコ、また吸殻等の処理には充分注意すること

一、子供の火遊びには十分注意すること。

一、田畑や山に出かける時は、必ず火の元の安全を確めてから出かけること。

一、野良で、ゴミ、枯れ草等を焼く時は、安全な場所で行うこと

一、火入や野火をする時は、必ず消防署に届けて行うこと。

一、火の元に注意して大事な財産資源を守りましょう。（消防署）

交通安全教則腕だめし

1　交差点の信号機は、各交差路が全赤を表示するときもあるので、横の燈火には関係なく常に進行方向の信号を見て通行するようにしたい。

2　走行中の車に働く慣性力は、速度に比例して倍化するから速度を二倍にすると制動距離も二倍となる。

（前号解答）

1　×　車両進入禁止標識であり、補助標識により除外されている車両以外は入ってならない

2　×　事故の当事者となつた場合責任者の有無に関係なく、まず負傷者の救護、警察官へ申告の義務がある。

農繁期の防犯

～農薬による事故をなくそう～

農繁期を迎え、農薬を取扱う機会が多くなり、毎年農薬自殺や子供の農薬遊びによる事故が発生しております。

農薬についての知識が不足していたり、ルーズな管理や取扱いから命を亡くしたり、中毒にかかつたり、使用を誤つて他人に迷惑をかけることのないよう注意してください。

（駐在所）

東石老人クラブ植樹祭

さぎり荘で

このほど東石老人クラブ（会長石井辰弥）会員の皆さんが、さぎり荘周辺に、松、山吹、ハギ、白樺など一二〇本を植樹したあと、同荘で春の総会が開らかれました。

その外次の方々からご寄贈いただきました。紙上より御礼申し上げます。

ワラヂ　二足　前田　幸正様
雑布　五〇枚　前田トシエ様
ヤカン　一ヶ(大)　湯坐　伝様
みの　一枚　金沢八郎右工門様
造花　一鉢　芳賀　利雄様
モミヂ　四本　シダレ桜　一五本
ブドウ　四本　シバ　一〇本
東白農商鮫川分校　本郷先生

（さぎり荘）

国民年金の受給権者は 現況届を提出しましょう

国民年金の障害年金、母子、準母子年金、遺児年金、寡婦年金の受給権者は、毎年一回、五月三一日までに「国民年金受給権者現況届」を役場に提出することになつています。

この現況届は、受給権者が引き続き年金を受ける権利があるかどうかを確認するために行われる重要な届です。

忘れず届出して下さい。